

小平市立小平第四中学校 部活動に係る活動方針

小平市立小平第四中学校長 関 勝志

<p>学校における部活動の方針</p>	<p>小平市教育委員会の方針に則り、生徒にとって望ましい部活動の実施環境を構築するという観点に立ち、以下の点を重視して、地域、学校、競技種目、分野、活動目的等に応じた多様な形で最適に実施することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む学校教育の一環として位置付けられていることを踏まえ、運動部活動においては、生徒がスポーツを楽しむことで運動習慣の確立等を図り、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を図るとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。 また、文化部活動においては、生涯にわたって学び、芸術文化等の活動に親しみ、多様な表現や鑑賞の活動を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めるとともに、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。 □ 生徒の自主的・自発的な参加を基本とし、学校教育の一環として教育課程との関連を図りながら、合理的でかつ効率的・効果的に取り組む。 □ 学校全体として部活動の指導・運営に係る体制を構築する。 □ 学校運営上、無理のない範囲内で、生徒の多様なニーズに応じた活動が行われるよう、実施形態などの工夫を図る。
<p>適切な休養日等の設定方針</p>	<p>休養日及び活動時間については、成長期にある生徒が、学校内外の諸活動、及び、運動、食事、休養及び睡眠等の生活時間のバランスのとれた生活を送ることができるよう、以下を基準とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 学期中は、原則として、週当たり2日以上休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、休養日が確保できなかった場合は、その月の中で調整し、他の日に振り替える。) □ 長期休業中の休養日の設定についても、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設ける。 □ 1日の活動時間は、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行うよう設定する。目安として、長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日(祝日等を含む)及び長期休業中は3時間程度を原則とする。ただし、活動時間には、準備、片付け、休憩時間は含めない。 □ 大会や練習試合等の活動時間についても、原則として上記に準ずるが、大会の規模や試合の進行等に応じて、活動時間を延長する場合がある。
<p>運動部</p>	<p>野球部、サッカー部、ソフトテニス部、陸上競技部、剣道部、卓球部、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、男子バレーボール部</p>
<p>文化・レクリエーション的な部</p>	<p>吹奏楽部、演劇部、家庭科部、イラスト部、伝統文化部、ダンス部</p>